

# 紺 珀 石

## 調布稲門会 会報

調布市若葉町  
2の22の10  
調布稲門会事務局

### 第5回総会開催さる 広がる稲門の輪



創立五周年を迎えた調布稲門会総会は去る六月一日(日)午後六時半調布福祉会館小ホールで開催された(詳細は早稲田学報七・八合併号(会合だより)参照)

大学側より掛下理事、友田校友会代表幹事始め、三多摩各市稲門会代表幹事、監査報告については置かれ、副会長が一括報告(特に今回一、二〇〇名を網羅した名簿作成の経緯の説明あり、続いて西原総長の代理掛下教授の挨拶で一〇〇周年記念事業の現況、新図書館タイル、スポーツ募金についての説明あり、又友田代

表、五月に創立されたばかりの三田会代表を迎え総勢百名の盛大な会となった。

表幹事は校友会の発展状況に関して話をされた。次に近隣稲門会を代表して府中松本会長、並びに三田会の小津会長から夫々挨拶あり。恒例の特別講話は元NHK・TBSアナウンサーで現在専門学校講師

の大塚好男氏(昭一六・十二専商)により「日本語あれこれ」と題して行われた。最後に元木事務局長より同好会の説明あり、ゴルフ、テニス、太極拳、囲碁将棋、麻雀、カラオケ、野球の部門毎に各幹事から夫々説明があった。

ここで磯田幹事より、七月の市長選に出馬声明した吉尾幹事の紹介を要求する緊急提案あり、司会者から吉尾君(当時調布市議会議長)の紹介及び同君の簡潔で謙虚な挨拶があり、全員協力応援する決意に燃えたのである。

総会は五島副会長の閉会の辞で無事終了。小憩の後、堀幹事の司会で懇親会に移る。八王子の斉藤会長の乾杯に始まり中野幹事(揚名時太極拳師範)の指導で、同好会有志の演舞が披露された。余興は日本プリンスレコード丸森茜さんの演歌、のど自慢は会員の日本テレビ解説委員長福富達さん、二十五代ミス東京平野さん(府中の会員)、を始め、ソロありデュエットあり壇上のマイクは空くことなし。

然し乍ら時間の制約もあり、次回三多摩稲門連合会幹事町田の武藤会長代理の挨拶の後校歌斉唱、立川の砂川会長の音頭で万歳三唱、掛下理事の返礼万歳に次いで三田会の発足を祝ってエールを送り懇親会は午後九時過ぎ散会した。

(出席会員)浅見上郎、青木一彦、磯田要、大津留直、上田尚武、榎本茂男、荻谷耕一、大谷暁、大谷津博、大塚好男、太田忠男、長田三男、大

竹重夫、笠井俊志、香山弘之、加藤重孝、金津幹一、神守孝司、木村栄三郎、栗田裕巨、栗原茂、小林勝、五島晋作、榎野英夫、佐藤英夫、佐藤隆司、桜庭和夫、佐藤千里、嶋田太郎、白川準一、白鳥茂、柴田春夫、嶋本満、杉原素明、関信明、高見沢豊、竹林信行、山口日出夫、高品啓造、田辺明子、知久富夫、堤洋一、津田弘教、富沢慎哉、中野完二、内藤重勝、中村俊一、中野慶子、濁川義治、濁川寿次、根津稔、野地典、原証念、林貞夫、芳賀治、王方貞、船尾和三、福富達、福島俊信、本多和行、堀龍之介、細川一三、丸山健二、前田利民、室中道雄、村上一彦、村上誠二、元木勇、元木茂孝、山澤輝久、山田寿三、吉尾勝征、吉川宏和、田良信、関川平吉

(近隣稲門会)府中、八王子、立川、国分寺、三鷹、多摩、稲城、昭島、町田各代表 (富沢記)

いあいさつ  
調布稲門会々長 林 貞夫

会員の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。去る六月一日の総会には、創立総会に次ぐ多数のご出席を頂きありがとうございます。お陰様で創立五周年を迎え、徐々に内容も充実して参りました。また先般の市長選に、本会庶務幹事の吉尾勝征氏が見事に当選されましたことを、皆様と共に心からお祝い申し上げます。

総会の議事が終了した直後、磯田

幹事から、市長選で吉尾さんを応援しよう」と緊急動議があり、満場一致で決定、本人のあいさつもあり、出陣式の様子を盛り上げられました。校友会を選挙戦に引込むことに躊躇いを感じていましたが、会場の雰囲気には心を良くし、同窓のありがたさを痛感しました。

七月に入り、中央の権力と地方自治との戦いという様相を呈し、稲門会の活動はめざましく、反骨精神が遺憾なく発揮され、先輩の石川代議士、土屋武蔵野市長も連日応援に來られ、総決起大会には、西原総長の政助電報も披露されました。最近の早稲田は、ミニ東大化し建学の精神が薄れてきたといわれますが、市長選を通じて「早稲田精神」健在な里と思えました。

七月二十一日午前十一時三十分、二五〇〇票で当確の連絡があり、前哨戦から約二ヶ月に及ぶ永く戦しい選挙戦が終了しました。最終得票三〇、五四票で、保守系対立候補の約二倍という圧倒的な勝利を収めました。自民党本部や同都連をバックに、十数人の国会議員が応援にきた知名度の高い相手候補を破つての勝利だけに、感激も一入、又、深いものがあります。ご支援を頂いた多くの会員とご家族の皆様には厚くお礼申し上げます。

稲門会創立五周年と吉尾新市長の誕生を契機として、会員の増強と親睦を計り、母校や地域社会の発展に貢献したいと思っておりますので一層のご協力をお願い致します。

# 会員の皆様へ

S 43・一法 吉尾 勝征



この度の市長選では、予想を大幅に上廻る得票で当選させていただきました。今回の勝利は調布を愛する心と良識ある市民の力の結果もたらしたものであると確信しております。特に稲門の同志の皆様には、林会長始めそれぞれ独自の戦いをもって御支援いただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

また、当会におきましては、政治・宗教は持ち込まないという不文律があるにもかかわらず、会員有志の方々の利害得失を越えた御尽力には、大変に勇気づけられ、胸熱くなるものがありました。

もとより、個人の力は、はなはだ微力ではありますが、調布市のさらなる発展のために、皆様のより一層の御協力と御指導を切にお願いいたします。ありがとうございました。

## 吉尾市長が

### 誕生するまで

S 16・12商 富沢 慎哉

先づ吉尾市長の誕生を心からお祝い申し上げますと共にその経過をご紹介します。

介したいと思う。今回吉尾さんが所屬していた自由民主党調布支部（後に離党）が先づ選挙の母体となった。金子前市長が三選辞退と決まると、同支部は後任に当時市議会議長の吉尾さんに白羽の矢を立てた。支部としては同氏を推薦することを機関決定したが、当初は再三固辞、この時自民党本部に於ては、東京十一区の衆議院選に前回公認したY氏を落選確実とみて公認から外し、調布市長選に回して来たのである。そして陰に陽に吉尾さんを市長選からおろすべく再三に渡り、権力をかさに執拗に圧力を掛けて来たことを知った吉尾さんは、逆に断固出馬の意を固めたのである。時恰かも調布稲門会カラオケ同好会発会式があった五月九日の夜であった。

丁度八年前、調布市長選挙に自民党支部が推薦を決めたY氏は、如何なる理由からかその二日後に社会党の推薦で出馬声明した。驚き且つ怒った同支部が、あらゆる努力を重ねて要請したのが金子佐一郎前市長、そして大差で勝った。それから何時の間にかY氏は自民党本部黨員となっていたのである。

自民党調布支部の、地方自治を飽くまでも死守せんとする固い決意と川原支部長の正義感溢る、態度に共鳴する人々も多く、新自由クラブを始め従来の金子市長の支援団体も全員一致、こゝに新しく「調布を愛する市民の会」が結成された。然も吉尾さん自身の昼夜を分たぬ努力と相俟って、支援の団体や個人は続々と

増えて行った。石川要三代議員などは党本部に反逆する恰好で連日応援していた。

そして政党的には同じ自民党の本部と支部の対立という異常な図式の中で選挙は行われたのである。

七月十三日の告示後の相手陣営の当方に対するすさまじいデマや中傷「例えば投票日の前日、自民党調布支部長が中曾根総裁と協議した結果吉尾支持を取り止めた」などという怪文書を大量に頒布」を始め、大物大臣・代議士を動員しての圧力はすべて逆効果となり、かえって吉尾陣営を燃えさせてしまい、遂には大圧勝を齎したのである。

調布稲門会も林会長始め、多くの有志が夫々独自の方法で活躍した。当選決定の夕方、一千人を超える支持者が集まった報告会では多数の推薦団体を代表して調布稲門会会長が祝辞を述べ、大学西原総長並びに稲門市長会の祝電も披露された。「調布稲門会副会長、自民党調布支部副支部長、調布を愛する市民の会顧問」

## 調布市民としての実感

S 40・一政経 磯田 要

今迄地方選挙については、非常に関心かうすかった。巷間有名な前々回の金子・山田戦についても全然記憶にないほどである。

それが今回は手紙や電話を使って連日他人に迄投票依頼をする事になったのだからえらい様変わりである。そしてこの選挙のおかげで我家の

コミュニケーションも一段と良くなったようである。

まず女房である。約百件の家庭の積極的な応援の約束をとりつけたがその六〇％は女房のP・T・A、生協を通じてのつき合いです。私の毎晩の宛名書きしている姿が女房のヤル気をおこさせたのだらう。

更に娘達も関心を持つ様になり、娘の友達のお母さんから女房宛に、「お宅のお嬢さんからうちの娘に吉尾さんを応援してと頼まれましたが何をしたら良いのでしょうか」と冗談まじりの電話が入った程である。吉尾さんの立候補に我家は感謝しなければならぬようである。

更に十八日、十九日は会社を休んで自宅で最終チェックをしたが、私の依頼先から、ウチは両親、子供併せて五票大丈夫よ」とかある家元からは、趣味の世界に政治の話は持ち込みたくないが今回だけは特別に、親しい人達に声をかけたら三十名程確保出来た」等々の連絡が入り、百件の家庭に声をかけたのが四百票以上の拡がりをみせたので安心すると同時に自分もようやく調布市民になったのだなあと思感がわいた。

更に市子連の役員から、吉尾さんの件で会議のメンバーが集らず流会だ」との話の時に、林会長から情勢を心配しての電話を頂戴したが、当方はそんなわけで楽感的だったので林会長は「アイツは頼りにならない」と心中おいかりではなかったかと思えます。この稿をお借りしてお詫び致します。

## 調布市長選を

### ふり返って

S 28・法研 土方 貢

当選・大勝利・吉尾市長おめでとうございます。選挙の発表にわくわくしながらも、当選というものは何回くり返しても新鮮な思いがあっていいものでしょう。殊に今回は初めての市長選、しかも破しい選挙であつただけに喜びも一人のことと思えます。

凡そ、先に立って事を行うなど全く不得手な私が、貞さんが選挙運動を始めたんだって」という地元人の驚きの声を背に、全くの素人が高沢先輩（当会副会長、自民党調布支部副支部長）の「本来違法なんだけど茶、菓子以外のジュースも公然と認められる慣習になっているんですよ」と初歩の細かなアドバイスを頼りに何とか後援会づくりをすることができました。

後援会づくりには、日頃の信頼関係がいかに大切かを痛感しましたが、吉尾さんが誰からも好かれる人徳としかも政治家らしからぬ謙虚さを兼ね備えていてくれたせいか、世評の好感をうけ、思わぬところで激励されると自分ごとのようにうれしく、この人なら調布の街づくりを頼むに足りるとますます心を強くし、聊かでもお役に立てればと組織づくりにとりにくみました。

その結果、民主政治の基本であるべき地方自治も、その実体は歌い文句とはほど遠く、中央での厄介なお荷物地方に押しつける絡繰りもは

つきりみる事ができましたし、選挙活動の表と裏のかけ引きやスバイもどきの暗躍など醜悪な話をきいた

運動に燃える吉尾さんの真黒に日焼けした柔和な顔に煌煌と輝く目をみるたびに、知らず知らず夢中になっ

ていく不思議な自分をもみることができました。

今、ふりかえって「あれもすればよかった」、「これもしておけば」と反省しきりの中にも、会員組織づくりの難しさを知れば知るほど、私の一寸した不注意から清潔・公平を

標榜する吉尾さんのイメージを損うことがあってはと、それだけが気がかりでした。

奥さん方に人気のある市内行商の魚屋さんの車にポスターを着けさせ

たまま告示後二日間も走らせてしまつたことあるPTAの会長から折角吉尾さんの後援を頼んでいるのに

宣伝カーが一度も回つてこない」と文句をいわれ、あわてて広報車をお願いしたことなど、思い出せば失敗ばかりのようでした。また、私自身

は100%信頼している後援会員の家へ繰り返し何度も入会案内が届けられ「一体私は信頼されている人でしょうか」と不思議がられたり、同一家庭内で他の候補を応援しているご主人をどう説得したらよいかなど、いろいろ勉強させられました。

令夫人の変らぬ笑顔が吉尾さんの当選の大きな原動力となっていることを、吉尾さんに改めてお知らせしながら。

### 在野精神健在なり

S 37・一法 根津 稔

吉尾さん市長当選本当におめでたう。

調布稲門会の仲間である吉尾さんが市長選に出るということで、我々は理屈抜きで応援する気持ちになつたものと思います。

特に保守陣営が二つに割れ、吉尾氏は地元、相手は中央推薦、しかも相手は中央の幹事長、大臣、タレント議員を呼び、アルバイトを大量に動員し、吉尾氏のポスターをはかし

吉尾氏に辞退を迫るため数々の手段を講ずるなど、そのやり方は物量作戦その他により吉尾氏を葬り去ろうとするものであつた。

このようなやり方は良識ある市民の反発を買うのは必至であり、特に時の権力に屈しない早稲田の在野反骨精神がむくむくと頭をもたげ、調布稲門会の大方の諸兄は敢然と立ち

上り、権力に屈するな、調布の地方自治、民主主義を守ろう、ということとで、調布稲門会の組織を挙げてという訳にはいかないまでも、林会長以下一人一人が手弁当で応援する気持ちになつていきました。

参考までに私の応援の経過を書かしていただきますと、調布四中PTA有志で軟式野球部クローバーズを

結成し、五〇人位の部員がおり、私

もその一員であります。吉尾氏の所属していた市議会議員チームと何回か試合をしたこともあり、吉尾さんとは野球の仲間でもあり、この五人の部員に、吉尾氏応援を依頼するの

のに何の抵抗もありませんでした。そして都合のつく人二十数名に苦気

払いとすることで集まっていた。吉尾氏を呼んで話をしてもらいました。たところ、皆さん協力を約束してくれました。

私は神代団地に住んでおりますので団地の同じ階段の、その他近隣で知り合いの人を訪問して吉尾氏のことを依頼しました。

又、テニス同好会の幹事をしてい

ますので、会員の皆さんにはお願いしたことはもちろんです。

結果は皆さんご存知の通り吉尾さんの圧勝に終り、朝日新聞の見出しは「地元が中央に勝つ」というもの

でした。このような圧勝により相手もすきりしたと思ひますし、保守陣営の変な亀裂も早々に修復されるであらうし、吉尾さんの今後の市政運営も

やり易いものになるのではないかと思ひます。

### 『片想いこそ愉し』

S 31・一政経 柴田 春夫

吉尾市長誕生、お目出度うござい

ます。余りの圧勝に「あ、愉快なり」と絶唱する前に、心優しい私は、他の候補が気の毒になつた位です。

専門家が見れば、政治的に示唆に

富んだ選挙戦であつたにせよ、この勝利は、首長選挙は、斯くあるべし

のサンプルの感がありました。市長御本人の人格・資質・政治姿勢が評価されたのは勿論ですが、スタッフ・

応援の総ての人達に心から敬意を表します。

さて、稲門の有志の方々の動きも感動的でありました。唯、吉尾氏に惚れて、それぞれの分野・方法で活動しました。特に、今迄直接選挙に

関与しなかつた方々の目覚ましい。無私の奉仕に、私は吉尾氏勝利の原点を観ました。

ともあれ、吉尾市長大勝と誰も、強いて云えば、同数位の批判票もあつたと考えれば、真価を問う本当の

男の勝負はこれからです。さぞ、苦勞の多い日々と存じます。しかし、私達は、徳川三百年の礎となつて、株も、名譽も捧げた、あの譜代の武士団程の器量も、力も無いので、せめて、これからは、遠くから秘かに吉尾市長に声援を送ります。

そして、心は片想いに似て、想いを寄せる「あの人」の決して邪魔をしないで、健康と活躍のみを祈つておきます。

### 吉尾市長誕生に因んで

S 33・一商 関 信明

まずはじめに、稲門出身の新市長誕生を心から祝福します。吉尾君の名を最初に耳にしたのは、彼が調布第一小学校四年在学中の頃でした。クラスに優秀な男の子がいるという

愚妹の口からでした。それからの三年間、同じクラスで過ごし、調布中学に進学してからも、クラスこそ別

であっても共に学び舎にあつた吉尾君について、頭腦明晰で、常にリーダーシップをとり、同級生の憧れの的であつた事を聞かされていました。

小学校、中学校、大学（高校は別）と私の後輩として歩みつづけていた吉尾君に、特別の親しみを感じてきた折に、彼と出合う事になつたのでした。それは今から十二年前の

奇しくも市長選の時でした。劣勢を省みず保守奪還の為に戦つた早川氏とのアベック選挙でした。我々の努力が足りず、本多さん（33年理工卒

本多和行さんの父君）が四選し、吉尾君も惜敗しました。その時の惨めさは今でも忘れません。翌年の市議選に彼は初当選し、以来十一年、適格な判断と行動力は、その真摯な性格と相俟つて、保守革新を問わず人望を集め、議長を立派に勤めた結果

が、金子市長引退に際し、後継者と指名を受け、都連の反対を押し切つてまでも自民党調布支部が一丸となつて戦う事にもなり、他の政党、地元を

元をはじめ意気に燃えた市民の力を結果できたものと思われまふ。それにもまして、調布稲門会の林会長はもとより、みなさんが、それぞれの立場で一生懸命この選挙に取り組んだ姿に頭の下がる思いが致します。

私がかつての苦汁を二度と味いたくないために微力ながらお手伝いをさせていただきました。そして今、勝利の美酒に酔い乍ら、彼ならやれ

るよう頑張りたいと思つております。

る」と心から確信し、十九万市民の期待を担って、二十一世紀に向う理想の都市づくりに進進するであろう新市長にやんやの拍手と喝采をおくりります。

S 37・政経

調布市議 元木 勇

吉尾さん、市長当選おめでとうございませう。心からお祝い申し上げます。保革が、それぞれ分裂、新人四人が、激しく争った、市長選の結果、「お見ごと」の一言につきます。短期決戦の中、前金子市長の後ろ盾で、若さとバイタリティと早稲田精神そのものです。

私との出合いは、吉尾さんの十二年前の市議補欠選挙時以来で、その後、私も市議会議員として当選致しまして、同じ議員仲間として仕事して居りますが、三期十二年、議長にも就任、市政の経験は、豊富です。このキャリアは、りっぱで敬意を表します。私は、議員の室で、時々お話しをお伺いする中で、政治について、アドバイスと、勉強させて頂いて居ります。

今回の選挙で一諸に選挙運動しながら支援をお願いして歩きましたが、ある地区では、身体障害者の為に、手話の先生の助けを得ての応援演説もありました。

市民の絶大な期待を受けて就任された、その要望にこたえ、はつらつとした、新風と、勇断をもって、市

政運営に当たるように大きな期待を寄せるものであります。

調布稲門会の事務局と致しましては、六十一年度の総会席上にて、市長立候補の宣言を皆様にご紹介致し、ご参席各位の方々から、あたたかい拍手で見守られ、そのご支援は、何よりまして力強いものであります。総会の日が偶然タイミングよかったことは、吉尾さんの幸運でもあったと感じると共に、まことに喜ばしいことであります。

長い人生からみれば一コマかも知れない有意義な経験と大きな勉強をさせて頂きました。これを今後の活動の中に生かし、「稲門会」が一層、発展して行き、皆様と共に、早稲田マンたることを誇りに思い、情熱を燃えたぎらせ、思いを新たにしているこの頃です。

同好会通信

大極拳同好会

昨年の深大寺での三多摩稲門連合会に続いて、今年の調布稲門会総会でも、日頃の太極拳の練習の成果を披露した。

毎週日曜日、午前十時から十一時まで、調布市総合体育館を会場に、楊名時太極拳師範の中野完二幹事の指導で、心と体の健康法、簡化太極拳二十四型と八段錦の稽古を、稲門会員とその家族、知人ら十数名で和

気あいあいとすすめている。入会金二千円、会費は月二千円、会場費月五百円。入会申込みや問合せは、磯田要幹事(電話八六一〇〇四四)まで。講師や会場の都合で、会場、時間を変更することあり。(中野完二)

麻雀同好の志よ 集まれ!

調布稲門会会員も年々増加し、活況を呈しているが、総会等で特に和気合々話題が弾んでいる集まりがある。そこにおられる方々は、山澤さんであり、大谷津さんであり、栗原さんである。又、女性の田辺さんの顔も見える。

皆んな麻雀同好会の人々である。麻雀を打ちながら一緒に飯を食い、酒を飲み、馬鹿を云いあっている仲間。親近感が一層強いのだと思う。この輪をどんどん広げたい。麻雀のあとでカラオケスナックに立寄り取けたものも勝ったものも一緒に更に親睦をはかる。

とても愉快な麻雀同好会に、麻雀を知っている人も知らない人も、つともつと参加して欲しい。次回は10月中旬を予定しています。ヨロシク

幹事 堀 龍之介 八七一―一五一

囲碁将棋同好会

会員待望の囲碁将棋大会が七月十七日、福祉センターで行われた。前会までと違い、今回は稲田先輩の

御尽力で、林会長より優勝杯の御寄贈を受けましたので、第一回会長杯争奪大会を開催することができた。大会は、参加者十五名で行われたが、偶然か皮肉か優勝杯は稲門の諸兄の手に渡らず、自由参加の方々に奪われ、本当に残念でした。

成績は、囲碁の部優勝が有田氏。準優勝は堤氏。将棋の部優勝は加藤氏(女性)。準優勝は元木氏。

今回は常連の大隅、鶴田先輩のお顔が拝見できず残念でした。

尚、同好会は、毎月第4月曜日(12月は休みます)に調布駅南口の福祉センターの6階で開催しています。約十名位参加されますのでお気軽にお出掛け下さい。

一月と七月の第4月曜日は会長杯争奪の大会を行いますので、皆様の参加をお待ちしております。内藤 重勝

ゴルフ同好会

早いもので昭和五十七年十月二十九日、第一回コンペ以来、来たる九月二十八日のコンペで記念すべき第十回となります。その間、参加延人数は一四九名にもなりましたが、会員間の親睦度は増すばかりです。

年三回開催を目標にしていますので、本来なら四ヶ月に一度が理想ですが、夏場の高いブレイ代や日祭日のコンペの予約が困難という問題があり、どうしても変則的な開催にならざるを得ないのが実情です。近場で料金も妥当な所となると、年々予約が難しくなっており、会員の協力が是非

カラオケ同好会

とも必要と思っております。前回第九回コンペは四月九日によりゴルフ倶楽部で行われ、大隅常生氏が優勝し、準優勝は林貞夫氏は五十二名、これからも、同好会発展の為にお互いに頑張りましょう。幹事 笠井 俊志

カラオケ同好会は五月九日(午後七時)深大寺門前「万葉」で発会式を行った。九名参加。尚幹事は津出弘敦(電〇四二二四五一―一六五二)

軟式野球同好会

会員募集

連絡先 根津 稔  
自宅宅 〇四二四一八四―八六四七  
勤務先 〇三一六六七―七八七四

稲穂の風

「吉尾市長誕生を祝う会」開催の音が澎湃として起り、去る八月十九日午後六時半、稲門会有志六十数名が相集い調布駅北口間橋ビル大会議室で盛大に開かれた。当日は吉尾氏夫妻始め、市長選告示後毎日応援に来られた稲門の先輩石川要三、代議士も駆けつけ、土屋武蔵野市長から祝電を寄せられるなど、和気あいあいのうちに午後九時閉会した。

発行責任者 林 貞夫  
編集責任者 鶴田幸夫

# 吉尾 勝征氏

## 市長当選

去る七月の調布市長選に調布稲門会の吉尾幹事が見事に当選されましたが、特に有志の方々から感想文を頂きましたので之等を中心に「紺碧第五号」を編集いたしました。

この他にも吉尾市長実現に向けて陰に陽に御支援御協力頂いた方々は多数居られました。が改めて厚く御礼申し上げます。

### 調布稲門会

会長 林 貞夫



調布稲門会  
会報

調布市若葉町  
2の22の10  
調布稲門会事務局

### 紺碧第四号発行以後の動き

#### 名簿の訂正・追加

訂正

- 昭六〇・一 三多摩稲門会会長（於五日市、林・元木） P 3 青木一彦 富士見町4-10-12
- 二 昭島稲門会創立總會 P 7 栗田裕臣 菊野台2-59-6
- （富沢） P 7 黒須正明 染地3-1-32
- 昭六一・二 幹事会（於天浜）十九 P 8 多摩川住宅は13-304
- 名 P 8 佐藤英夫 染地2-22-43
- （於林建設）八 (86)-7056
- 名 P 8 佐藤英夫 会社員
- （於林建設）七 S 17 専政経・税理士
- 名 P 8 佐藤英夫 削除
- （於林建設）十
- 三多摩稲門連合会（於三鷹市民会館）十名
- 五 幹事会（於林建設）十
- 名 P 9 園田光司 西つつじヶ丘2-14-3
- （於林建設）十
- 六 八王子早稲田会（富沢） P 9 園田光司 S 17 専政経・税理士
- 幹事会（於林建設）十 下石原1-60-1
- 三名 P 9 園田光司 (86)-6081
- （於林建設）十
- 七 稲城稲門会（元木）

- 八 八王子早稲田会（富沢）
- 九 幹事会（於林建設）
- 十 三名
- 十一 稲城稲門会（元木）

東京国際大学教授

